

プログラム

第1日目：2016年7月2日（土）

受付 8:00～9:00

開会挨拶 9:00～9:10

河野 俊寛（金沢星稜大学）

第1部 第11回研修会

司会：若宮 英司（藍野大学）

9:10～10:40

発達性ディスレクシアの定義と症状，認知的背景など

関 あゆみ（北海道大学）

10:50～12:20

発達性ディスレクシアの評価と訓練，支援など

春原 則子（目白大学）

12:20～13:30 昼食休憩（理事会）

第2部 研究会

研究発表1

司会：金子 真人（国士舘大学）

13:30～13:55

1. 流暢な読みに寄与する初期視覚処理－事象関連電位を用いた検討－

宇野 智己（北海道大学大学院）

13:55～14:20

2. 日本語話者児童の仮名と漢字の読み困難における二重障害仮説の適用について

澁谷 文恵（筑波大学大学院）

14:20～14:45

3. 書字動作のデータ収集装置開発と適用事例

滝本 貢悦（アシストラボ）

14:45～14:55 休憩

研究発表2

司会：奥村 智人（大阪医科大学LDセンター）

14:55～15:20

4. ROCF 反応図の類型変化と認知特性

和田 真理子（北里大学東病院）

15:20～15:45

5. 発達障害児における漢字書字の誤反応分析ー認知特性との関連ー
柴 玲子（島田療育センターはちおうじ）

15:45～16:10

6. 漢字書字困難の背景にある”形のとらえ”について～Rey と Taylor 図形をもちいて～
岩田 みちる（北海道大学大学院）

16:10～16:35

7. Rey の複雑図形（BQSS 法）を用いた漢字読字・書字能力の背景要因の検討
山口 大輔（平谷こども発達クリニック）

16:35～16:45 休憩

研究発表 3

司会:伊達 健司（五色台病院）

16:45～17:10

8. LD の判断と指導のためのスクリーニングキット「SKAIP」の教育的ツールとしての有用性
竹下 盛（大阪医科大学 LD センター）

17:10～17:35

9. 発達性読み書き障害児における WAVES の得点傾向に関する検討
富永 絵理子（ジョイビジョン京田辺）

17:35～18:00

10. 視写・聴写速度に関わる認知機能の検討
鈴木 志保（平谷こども発達クリニック）

19:00～21:00 懇親会

第2日目：2016年7月3日（日）

受付 9:00～10:00

基調講演

司会:河野 俊寛（金沢星稜大学）

10:00～11:30

The hidden aspects of dysgraphia - from theory to practice

Prof. Sara Rosenblum（ハイファ大学）

11:30～13:00 昼食休憩

総会 13:00～13:30

第3部 研究会

研究発表4

司会：中村 朋子（元広島国際大学）

13:30～13:55

11. 視覚障害教育における視覚、視機能の把握と教育上の配慮を生かした、発達障害、LD、学習障害等、広範な特別支援教育の手立て、実践の可能性について
刀禰 豊（岡山東支援学校）

13:55～14:20

12. 発達性読み書き障害者の直面する困難への対応方法の検討 ―個別性のあるコピーング・ストラテジー―
阿子島 茂美（十文字学園女子大学）

14:20～14:45

13. 知的障害のある子どもへの読み書きに関する指導の一例
嶋 美紀（石川県立いしかわ特別支援学校）

14:45～14:55 休憩

研究発表5

司会：宇野 彰（筑波大学）

14:55～15:20

14. 発達性ディスレクシア 224 例の背景要因の検討
平谷 美智夫（平谷こども発達クリニック）

15:20～15:45

15. 保護者と関係機関との連携により自立に至った発達性読字障害（ディスレクシア：Developmental Dyslexia）の2例
平谷 美智夫（平谷こども発達クリニック）

15:45～15:55 閉会挨拶 宇野 彰（筑波大学）